

日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることの指導 ～買い物場面でのやりとりを使った事例～			
教科・段階	国語科・小3段階	事例コード	2211
学習グループの実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学部4学年</li> <li>「〇〇をください。」や「ありがとうございました。」などの定型文を覚えて、日常の中で使うことができる。</li> <li>身近な平仮名、片仮名、漢字を使って、簡単な文を書いたり読んだりすることができる。</li> </ul>		
単元(題材)名	『かいもの』		
学習指導要領の内容	国語科／小学部3段階 [知識及び技能] ア(ウ) [思考力、判断力、表現力等] A聞くこと・話すことーエ、C読むことーウ		
単元(題材)の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	日常生活でよく使う、促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。【[知]ア(ウ)】	挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うことができる。【[思]Aエ】 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。【[思]Cウ】	言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。【小学部3段階ウ】
単元(題材)の計画	総時数7時間 ① 買い物場面のイラストを見て、買い物をするときにはどのような言葉を使うか考える。 ② メニューの中から自分が買いたいものを選んで、伝える練習をする。 ③ 注文リストを見て、何を何個買って来ればよいのかを読み取る。 ④ 注文リストから読み取ったことをノートに書きだし、店員役の教師に伝える。		
指導の実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が生活の中で経験する買い物の場面を取り上げ、挨拶や簡単な受け答えの仕方について取り組んだ。</li> <li>初めに、買い物の様子のイラストを見せたり、校外学習で買い物に行った時のことを振り返ったりして、買い物の際にどのようなやりとりをするのかについてまとめた。</li> <li>実態を考慮し児童が普段から訪れるファストフード店での買い物の仕方について取り組むこととした。ファストフード店を設定したことで、意欲的に学習に取り組む姿が見られた。</li> <li>実態に応じて注文リストの内容を細かく(サイズの指定や数量を増やす等)したことで、より実際の注文を意識しながら取り組むことができた。</li> </ul>		



文部科学省著作教科書こくご☆☆☆



メニュー表



注文リスト